

# 年頭の挨拶

国土交通省道路局長  
金井道夫

平成 21 年の新しい年を迎え、お慶び申し上げます。皆様には、平素から道路行政の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、半世紀にわたり継続してきた道路特定財源制度が一般財源化される年であり、道路行政にとって大きな転換期となる年とも言えます。

道路特定財源の一般財源化等については、昨年 5 月の閣議決定に基づき、具体的な成案を得るべく、各方面で検討が行われたところであり、昨年 12 月 8 日に政府・与党合意「道路特定財源の一般財源化等について」が取りまとめられました。

主な内容としては、道路特定財源が一般財源化されることに併せ、

- ① 新たな中期計画は、今後の選択と集中の基本的な方向性を示すものとし、社会資本整備重点計画と一体化すること、
- ② 道路を中心に地方の実情に応じて使用できる 1 兆円程度の「地域活力基盤創造交付金（仮称）」を創設すること、
- ③ 地域の活性化、物流の効率化等の観点から、高速道路料金の引下げ等を着実に実施すること

などが、決定されたところです。

今後は、これに従い、通常国会において必要な措置を講じるとともに、徹底したコスト縮減、ムダの排除に取り組みつつ、地域にとって必要な道路整備を着実に進めてまいります。

「新たな中期計画」については、地方からの提案や意見などを踏まえ、今後の道路事業のビジョンを示すものとして、昨年末に取りまとめましたが、今後は、地域における道路の位置付けや役割を議論し、地方版の計画を作成することとしておりますので、引き続き、国民の皆様、全国の知事・市町村長の皆様の御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の一層の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。